

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年3月31日 (2016.3.31)

【公開番号】特開2016-26626(P2016-26626A)
 【公開日】平成28年2月18日 (2016.2.18)
 【年通号数】公開・登録公報2016-011
 【出願番号】特願2015-182436(P2015-182436)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】
 【提出日】平成28年1月13日 (2016.1.13)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技媒体が流下可能な遊技領域が前面に形成される透明板状の遊技パネルと、
前記透明板状の遊技パネルの開口部を通して所定の演出表示領域が視認可能になるよう
に設けられる演出表示装置と、

前記透明板状の遊技パネルの後方に設けられ、所定の待機位置で待機する第 1 状態と、
該第 1 状態から前記開口部の内方に向けて移動した第 2 状態と、に変化可能な第 1 のパネ
ル裏装飾手段と、

前記透明板状の遊技パネルの後方に設けられ、前記透明板状の遊技パネルを通して常に
視認可能とされる装飾としての機能と、前記第 1 状態にある前記第 1 のパネル裏装飾手段
の一部を隠蔽する機能とを併せ持つ第 2 のパネル裏装飾手段と、

を備え、

前記第 1 のパネル裏装飾手段は、所定の発光装飾部を有し、

前記発光装飾部は、前記第 1 のパネル裏装飾手段が前記第 1 状態にあるときであっても
当該遊技機の前方から視認可能な位置に設けられる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 0 7 】

ところで、従来の期待度演出を含む種々の遊技演出の多くは、液晶表示画面上での表示
演出、あるいは、液晶表示画面を視認可能にするための遊技パネル開口の内側に配置され
た可動体の動作演出で展開されており、同等の演出を行うだけでは遊技興趣の更なる向上
を図ることが困難であった。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、以上のような従来技術の課題に基づいてなされたものであり、その目的は、遊技興趣の更なる向上を図ることが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、以下のような態様からなる。

遊技媒体が流下可能な遊技領域が前面に形成される透明板状の遊技パネルと、

前記透明板状の遊技パネルの開口部を通して所定の演出表示領域が視認可能になるように設けられる演出表示装置と、

前記透明板状の遊技パネルの後方に設けられ、所定の待機位置で待機する第1状態と、該第1状態から前記開口部の内方に向けて移動した第2状態と、に変化可能な第1のパネル裏装飾手段と、

前記透明板状の遊技パネルの後方に設けられ、前記透明板状の遊技パネルを通して常に視認可能とされる装飾としての機能と、前記第1状態にある前記第1のパネル裏装飾手段の一部を隠蔽する機能とを併せ持つ第2のパネル裏装飾手段と、

を備え、

前記第1のパネル裏装飾手段は、所定の発光装飾部を有し、

前記発光装飾部は、前記第1のパネル裏装飾手段が前記第1状態にあるときであっても当該遊技機の前方から視認可能な位置に設けられることを特徴とする。

また、本発明とは別に参考的に開示する発明は、以下のような態様からなる。

遊戯者による回転操作を可能にする回動部材を備え回転操作を検知する回転操作手段と、前記回転操作手段における操作に基づいて回転する回転装飾体と、情報を記憶する記憶手段と、を備え、

前記記憶手段には、当落情報と、図柄の変動表示を行う図柄変動演出と、前記図柄変動処理中に図柄変動と別に行われる表示演出である変動中演出とを、紐付けて構成した変動パターンと、前記変動パターンごとに、当該変動パターンと紐付けられた当落結果から、前記変動中演出が実行された場合に、図柄の変動結果が大当たりになる割合と、さらに、前記変動パターンに基づいて前記当落結果の期待度を示す予告演出と、当該予告演出のそれぞれが実行された場合に大当たりにつながる割合と、が予め記憶され、

遊技球の始動口への入賞を検出する始動口センサと、

前記始動口センサにより遊技球の入賞が検出される毎に大当たり抽選を行うための乱数データを発生させ、この乱数について前記記憶手段に記憶された変動パターンのうちいずれに相当するかを決定する乱数発生抽出手段と、

前記変動パターンに基づいて、前記図柄変動演出及び変動中演出が開始される際に、前記回転操作手段の操作受付を開始し、前記変動中演出における大当たりの割合を抽出する情報抽出手段と、

前記変動パターンに基づいて、前記予告演出を選択して実行する予告演出手段と、を備え、

前記変動中演出における大当たりの割合と、前記予告演出の前記割合とが異なる場合に、

前記回転操作手段の操作を検出すると、そのことを前記回転装飾体の回転で示唆する回転装飾体制御手段と、を備えたことを特徴とする遊技機。